

# プラグイン型絶縁信号変換器

## MS3500シリーズ

### 取扱説明書

文書番号：MQDDK-050808-4

Rev. 2.4

この度は、MTT製品をご採用いただき、誠に有難うございます。

現品をお受け取りになりましたら、まず、本機の仕様がご注文通りのものであることを、現品の表示ラベルの記載でご確認下さい。万一、仕様の誤りや、輸送上、その他の原因による損傷などが発見された場合には、速やかに、弊社営業所またはお買い求め先にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

弊社製品はすべて、厳格な品質管理基準に基づいて製造されておりますので、ご安心の上、お使いいただけるものと存じます。

#### 記

#### ◆保証期間と保証範囲

##### 〔保証期間〕

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後3ヶ年といたします。

##### 〔保証範囲〕

上記保証期間中に弊社の責により故障を生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を弊社の責任において行います。

ただし、つぎに該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) 需要者側の不適当な取扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- (3) 弊社以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災、災害などで、弊社の責にあらざる場合。

なお、ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

※万一不良品が発生した場合は無償で修理致します。なお不良箇所につきましては、解析の上ご報告致します。

### 1. はじめに

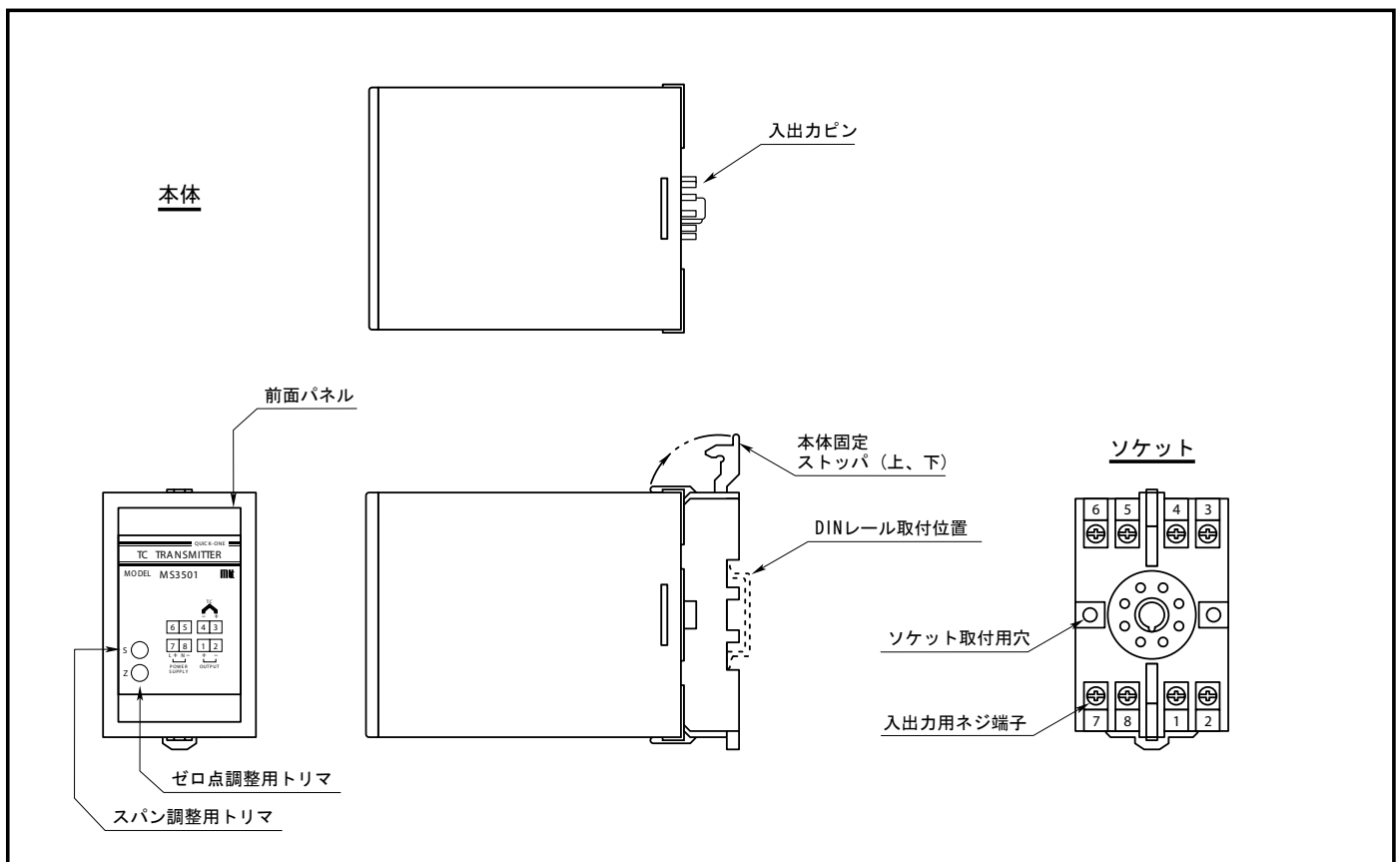
この取扱説明書は、エムティティ株式会社（以下MTT）のプラグイン型超低コスト絶縁信号変換器「MS3500シリーズ」の設置および操作方を説明するものです。

### 2. 製品概要

#### MS3500シリーズ

MTTの小型プラグイン構造の絶縁信号変換器です。入力ー出力ー電源ー大地、それぞれの間は、ともに2,000V ACという高い絶縁耐力を保持しています。高耐圧、高精度、高信頼性を保持しながらも、大量生産によるコストメリットときわめてシンプルな回路構成を生かして、大幅な低コスト化に成功しました。このシリーズには、広汎な用途に対応するため各種のモジュールが用意されています。

### 3. 各部の名称

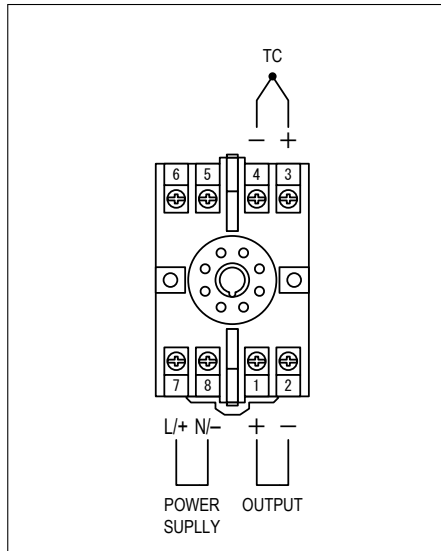
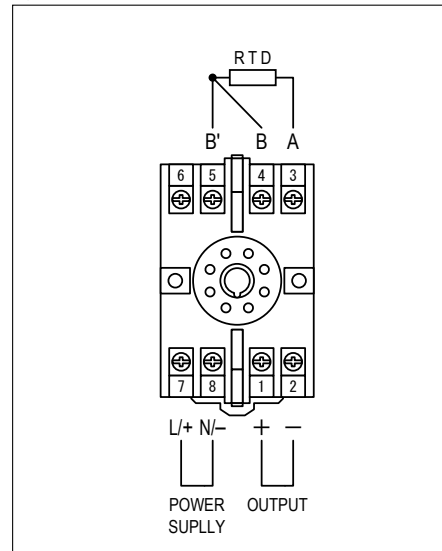
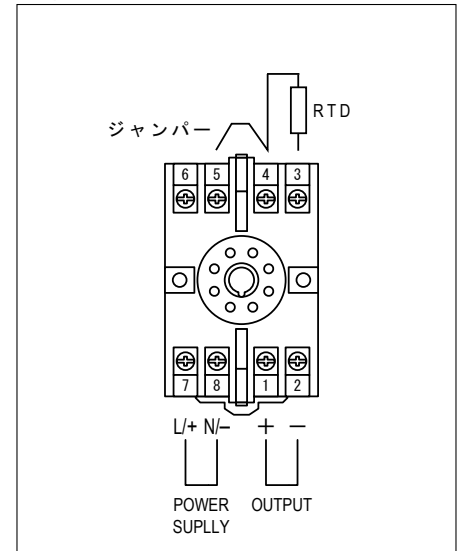


## 4. 接続の方法

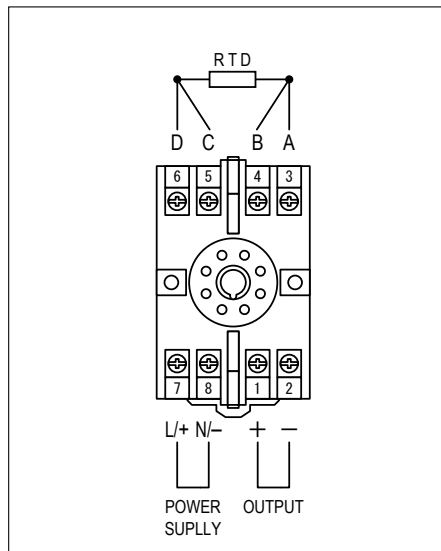
各信号変換器に対する入力・出力・駆動電源の接続は、各信号変換器ソケットのネジ端子に対して行います。

機種ごとの端子配列については、以下の図をご参照ください。

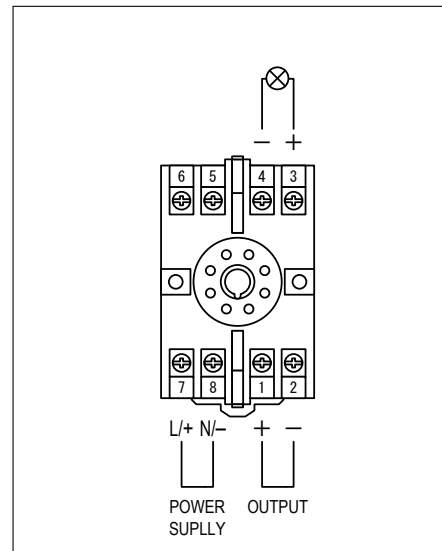
MS3501

MS3502  
(標準タイプ)MS3502  
(2線式タイプ)

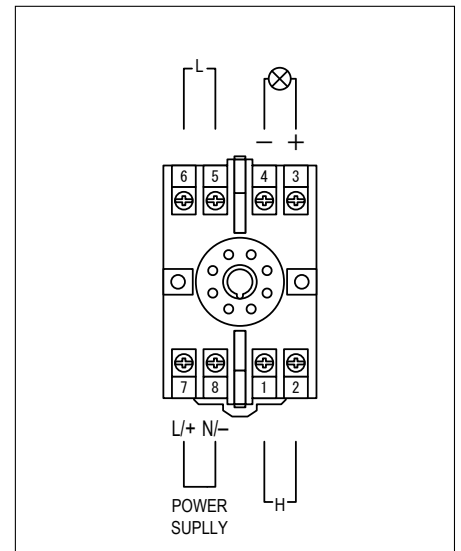
MS3502-01



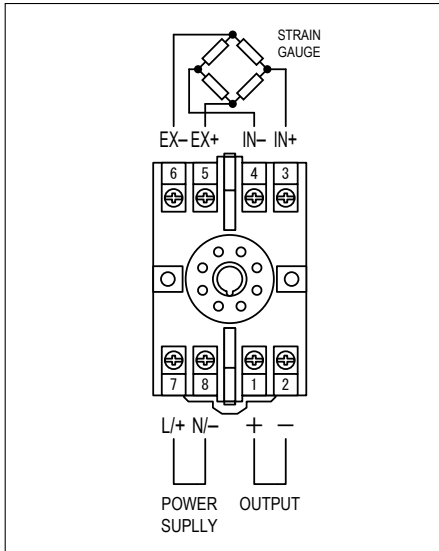
MS3503/04/13/32/MS3504-04



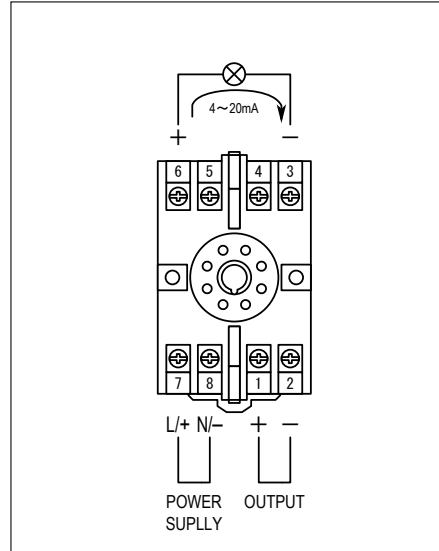
MS3505/05D



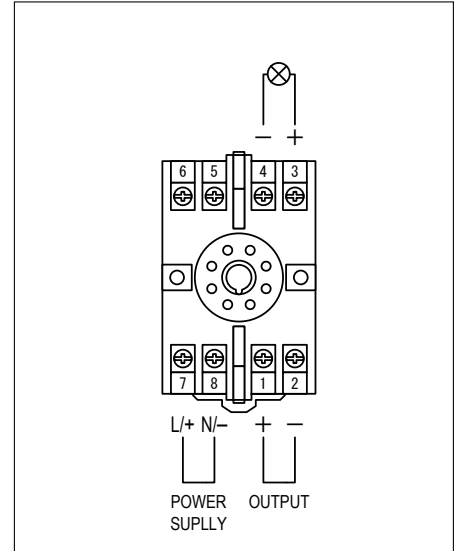
MS3506



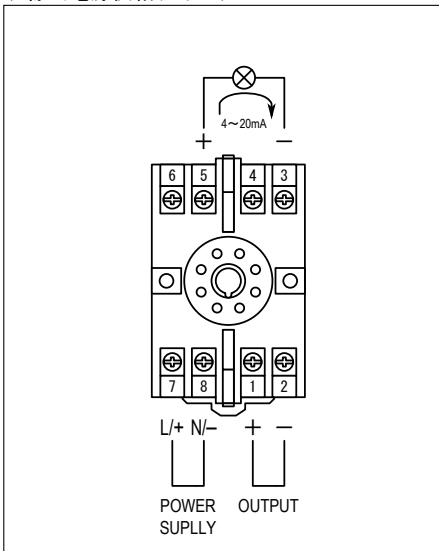
MS3507



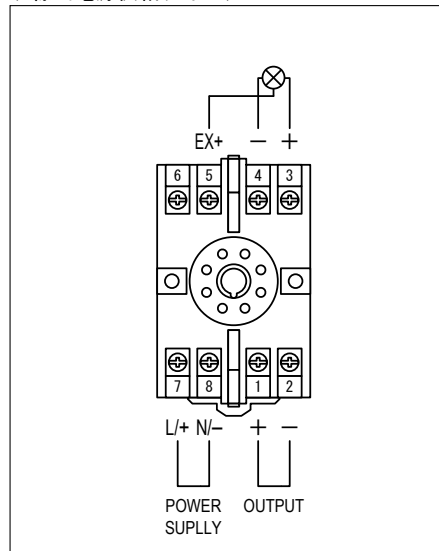
MS3508  
(標準タイプ)



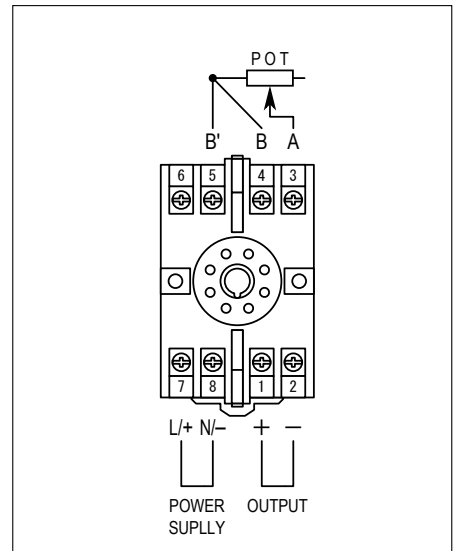
MS3508  
(2線式電源供給タイプ)



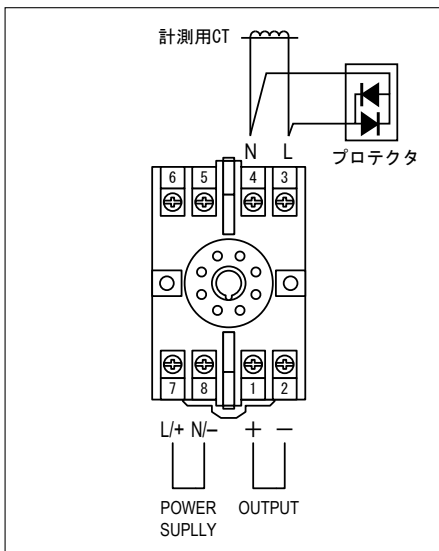
MS3508  
(3線式電源供給タイプ)



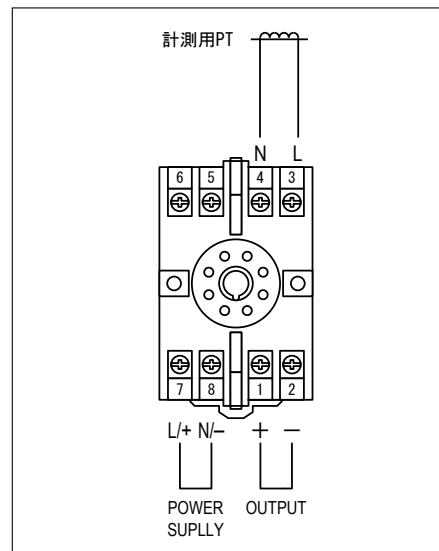
MS3510



MS3520

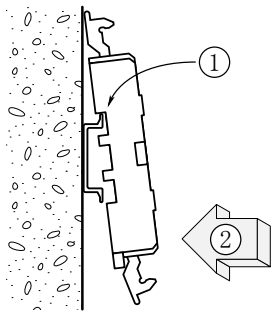


MS3521



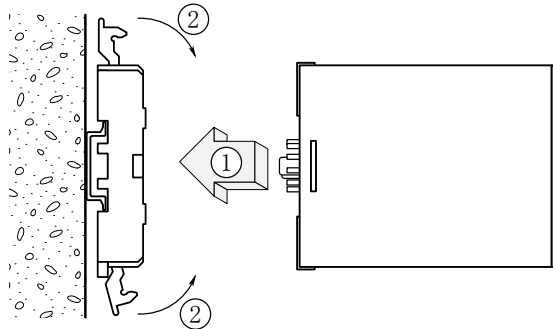
## 5. DINレールとの着脱

### ① ソケットの取り付け



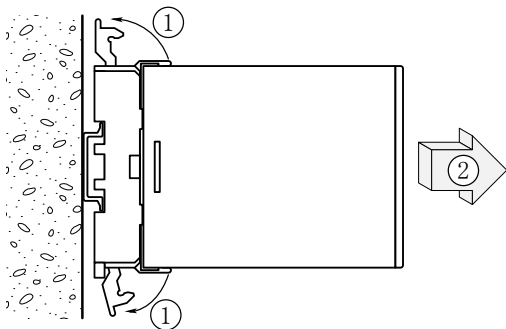
ソケット基盤についているレールホルダ（黄色の部分）を下にして、その反対方向にあるツメをレールに引っ掛けてからソケットを図のように嵌め込み、レールホルダをかけて固定します。

### ② 本体のソケットへの装着



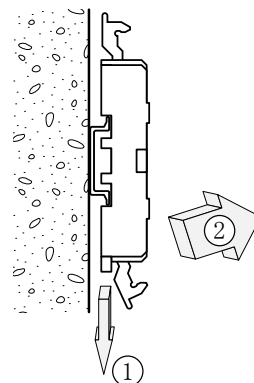
本体の上下方向を確認して、ピンをまっすぐ挿し込んだ後、ソケットの上下についているストッパ・フックを本体ケース上の孔にかけてロックします。

### ③ 本体のソケットからの取り外し



ソケットの上下で本体を固定しているストッパ・フックを、図のように起こして、本体をまっすぐ手前に引きます。

### ④ ソケットの取り外し



ソケット下部のレールホルダの溝にマイナス・ドライバ等を挿し込み、それを下方に押しながらソケットの下部を手前に引きます。

## 6. 使用上のご注意

- ① 本機の設置は、ホコリ、金属粉、水分、腐蝕性ガス、振動等の存在しない場所に行ってください。
- ② 電源、入力信号、出力信号の配線は、ノイズ源や、リレー駆動、高周波のライン近くには行わないでください。
- ③ 本機による計測に先立って、念の為、約30分間のウォーミングアップを行ってください。

7. 外形寸法図

